

令和7年12月20日

全国大学生生活協同組合連合会 第69回通常総会 祝辞

文部科学省 高等教育局 学生支援課長

春山 浩康

本年も、全国各地の大学生協から多くの皆様のご参加を得て、「全国大学生生活協同組合連合会 第69回通常総会」が開催されますことを心からお慶び申し上げます。

全国大学生生活協同組合連合会におかれましては、前身である「全国学校協同組合連合会」が1947年に発足して以来、食堂運営、店舗運営、共済事業、キャリア形成支援等の幅広い事業を展開し、我が国の学生支援の充実に資する重要な役割を果たしてこられました。また、学生が安心して大学生活を送るためのセミナーの開催や、広報誌・ホームページによる全国各地の大学生協の取組の発信など、会員組織を支援する様々な事業も実施しておられます。これらの取組は、武川正吾会長理事をはじめとする関係者の皆様や、学生委員の皆様の御尽力によるものであり、改めて深く敬意を表します。

また、2025年度の活動テーマとして「つながる元気、ときめきキャンパス～組合員との対話を大切に、『みんな』でつくる大学生協に～」を掲げ、学生委員会を中心とした学生主体の活動や各大学生協による療養支援や相談支援、学生間のつながり作りの場の提供、食生活支援や心身の健康づくりにかかる情報提供等を実施してこられたことについては、学生の生活実態に寄り添った大変意義深い活動であり、改めて感謝申し上げます。

文部科学省が実施している学生の中途退学者・休学者数の令和6年度における調査結果においては、中途退学、休学の理由として、転学・進路変更や学生生活不適応、経済的困難など学生生活における悩みの割合が高くなっており学生が継続的に学業に専念することができる環境の整備がますます必要となっているのではないかと考えているところです。

文部科学省としましても、経済的支援の充実をはじめ、障害のある学生支援、就職支援、インターンシップの推進等、学生生活における喫緊の課題に対応した必要な施策に引き続き取り組んでまいりますので、どうぞ、皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

最後に、全国大学生生活協同組合連合会のますますの御発展や関係する全ての皆様方の更なる御活躍、そして全国の学生の皆さんの学生生活の充実に心より祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。